

長崎市立三川中学校 学校だより HP

「緑のそよ風」

第 1 号 令和7年 4 月 10 日(木)

文責 校長 井上博之



※「学校だより HP 版」では、情報セキュリティ遵守のため、個人名や顔写真のアップ、その他情報の一部削除や構成の変更等がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ごあいさつと自己紹介

令和7年度 4 月 1 日に長崎市立三川中学校長として赴任しました、井上博之です。どうぞよろしくお願いいたします。前任校は長崎市立橘中学校に2年間、その前は佐々町立佐々中学校に2年間勤務しておりました。

簡単に自己紹介をいたします。平成元年度より長崎市で教職をスタート（この学校の開校と同時です）し、教職生活は今年で36年目となります。平成16年（今から21年前）から4年間、三川中学校に勤務していました。当時の勤務最後の年？に、地域に桜を植える名人の方の指導を受けながら、生徒と共に敷地の法面に穴を掘り、桜の苗木を植えた記憶があります。その樹が今、大きく成長して美しい花を咲かせていました。とても縁を感じ、感慨深い気持ちになりました。趣味はバイクでのツーリング、アウトドアでのキャンプ、山登りと温泉です。



○ 学校だよりの発行について

今年度の学校だよりの通称を「緑のそよ風」としました。校歌の出だしに「緑の風 薫る丘に・・・」とあります。そこから、私たち職員が生徒に向けて、「生徒を優しく見守り、励まし、応援し、陰からそっと“風”を送り続けたい」という気持ちを込めました。

子供たちは、地域という“大地”に守られ、根付き、成長していきます。「私たち教職員は、どこからか来て、そして去っていく“風”のようなものだ。でも、その土地に何かしら良い影響を与えて、子どもたちという“種”を素晴らしい花や樹にしていけるお手伝いができる。」と、ある校長先生が書かれていました。私たちも「生徒一人一人の自立と成長、幸福の実現のため」に吹く風でありたいと思います。これから一年間、学校で行う教育活動のねらいや生徒の活動の様子などをお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 着任式・始業式、入学式準備を行いました

4/7（月）に職員の着任式と令和7年度1学期始業式を行いました。生徒達は、朝から玄関で、新しい学級や仲間を確認し新学級へ移動しました。その後、体育館で着任式を行いました。新たに着任された7名の先生方を紹介し、代表の生徒会文化委員長が歓迎の言葉と、一人一人への温かいメッセージを伝えてくれました。



着任式に続いて、令和7年度第1学期始業式を行いました。始業式では、2年生代表生徒と3年生代表生徒が、昨年度の振り返りと新年度に向けての抱負を発表しました。次に校長から、今年度の学校教育目標「自他の幸福の実



現に向け、失敗を恐れず主体的に挑戦する生徒の育成」と、学校の目的（すべての人々が幸福になるため）と、勇気をもってチャレンジできる集団作りについて話し、最後に、校歌を歌いました。

新しい学級で担任と初めての学級活動を行い、午後からは入学式の式場設営と教室装飾を2年生、3年生がそれぞれ分担して行い、新入生を迎える準備を行いました。

○ 入学式を行いました

4月8日(火)は晴天で気温も上昇し、桜の花びらが風に乗って舞っていました。午前10時より、体育館にて令和7年度長崎市立三川中学校第37回入学式を行いました。今年度は37名の新入生が入学しました。



PTA会長様をはじめ、三原小・西山台小学校の両校長先生、地域の自治会長様、民生委員様等、ご多様な中に16名のご来賓の皆様にご列席いただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

拍手に迎えられながら少し大きめの制服に身を包み、新入生が入場しました。一人一人が呼名され、元気な声で返事ができていました。在校生代表、生徒会副会長が、あたたかな歓迎の言葉を述べ、新入生代表が、誓いの言葉を原稿を見ずにしっかりと力強く述べました。厳粛で、あたたかな式典となりました。



新入生保護者の方々のPTA入会式と役員選出の後、各教室で最初の学級活動を行い、最後に体育館で写真撮影を行いました。

令和7年度は全校生徒120名、教職員とスタッフ23名全員で生徒の自立と成長を支援します。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

※職員一覧表は削除しております。(紙媒体に掲載)